

### 第3章 道の事務・事業に関する取組の実施状況

道では、道が自ら排出する温室効果ガスの削減と道民や事業者の取組の促進を目的に2021(R3)年3月に「第5期道の事務・事業に関する実行計画」(計画期間:2021(R3)~2030(R12)年度)を策定し、2030(R12)年度に温室効果ガス排出量を2013(H25)年度比50%削減という目標に向け種々の取組を進めています。

#### 概況

- 2022(R4)年度の温室効果ガスの排出量は243,185 t-CO<sub>2</sub>。
- 基準年度から22.1%減少(68,951 t-CO<sub>2</sub>減少)。(図15)
- 前年度から1.3%増加(3,116 t-CO<sub>2</sub>増加)。
- 二酸化炭素の区別排出量は、基準年度に比べ、電気は56,192t-CO<sub>2</sub>減少、重油は6,633t-CO<sub>2</sub>減少、ガソリン・軽油は5,948t-CO<sub>2</sub>減少、灯油は1,020 t-CO<sub>2</sub>減少、熱供給は357 t-CO<sub>2</sub>減少。(表5)

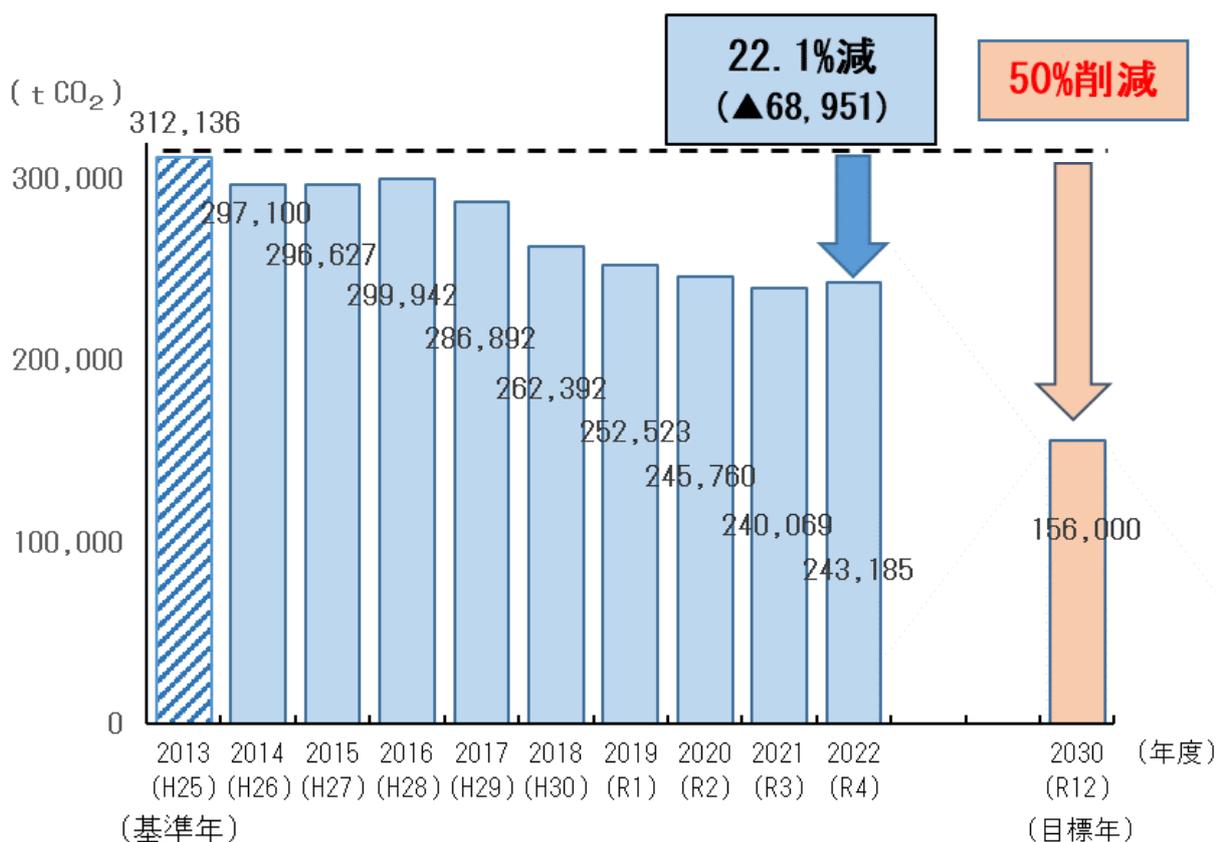


図15 道の事務事業における温室効果ガス排出量と削減目標との比較

表 5 2022(R4)年度の温室効果ガス排出状況

(単位：t-CO<sub>2</sub>)

※端数処理の関係上、内訳と合計が一致しない場合があります。

区 分	基準年度 (2013年度) 排出量	2021年度実績		2022年度実績			
		排出量	排出量	基準年度比 削減量	前年度比 削減量		
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	電気	186,592	127,754	130,400	▲ 56,192	2,646	
	重油	73,486	66,350	66,853	▲ 6,633	503	
	燃 料	ガソリン	17,789	12,897	13,221	▲ 4,568	324
		軽油	4,812	4,002	3,432	▲ 1,380	▲ 570
	小計	22,601	16,899	16,653	▲ 5,948	▲ 246	
	灯油	14,546	13,451	13,526	▲ 1,020	75	
	熱供給	3,991	3,927	3,634	▲ 357	▲ 293	
	その他の燃料(ガス等)	8,800	9,563	10,095	1,295	532	
計 ①	310,016	237,944	241,161	▲ 68,855	3,217		
その他の ガス	メタン(CH <sub>4</sub> )	1,021	1,071	966	▲ 55	▲ 105	
	一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	993	975	979	▲ 14	4	
	ハイドロフルオロカーボン(HFC)	83	79	79	▲ 4	0	
	六ふっ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	23	0	0	▲ 23	0	
	パーフルオロカーボン(PFC)	0	0	0	0	0	
	三ふっ化窒素(NF <sub>3</sub> )	0	0	0	0	0	
	計 ②	2,120	2,125	2,024	▲ 96	▲ 101	
合計(①+②)	312,136	240,069	243,185	▲ 68,951	3,116		

#### 前年度からの主な増減要因

- 前年度からの増加要因としては、電気の使用量増加によるものです。
- 庁舎等での電気使用量は減少した一方、公園や体育センター、美術館等における電気使用量が増加しました。
- 主な要因としては、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の終了による、開催イベントや利用者の増加等が影響したと考えられます。

#### 令和4年度の主な取組

- 庁舎等への太陽光発電設備の導入
  - ・PPAモデルなどによる道有施設への太陽光パネル設置を進めるため、建物の耐震性、耐荷重性等について調査を実施
- 公用車(乗用車)の次世代自動車化
  - ・一括リース契約や庁内外とのカーシェアリングなどの試行のほか、調達に関する情報を共有し、次世代自動車化を推進
- 庁舎等における照明設備のLED化
  - ・施設の修繕や改修に合わせて、LED化を推進
- 道有施設のZEB化
  - ・省エネルギー化に配慮した改修を行うとともに、改築にあたってはZEB化を推進